



筑波大学メールマガジン“ペデジャーなる” 2013 年夏号



—OB・OGと学生を結びながら、懐かしさと新しさ香る筑波の風を季節の便りとしてお届けして
きます。

INDEX

1 筑波大学の2学期制検証日記

—7月に夏休みが始まらないことにより、あらためて実感する2学期制。その影響とは・・・？

2 芸術専門学群、はじめました。

—芸専の授業ってどんな感じだろう？実は他学類でも参加できる楽しい授業があるのです！

3 ボランティア体験後の感想

—雇用問題が話題になって幾年月…留学生の目から見た若者の自立支援団体の様子をお届けします。

4 予算 2100 円で宿舍ちょこっと向上計画

—なんだかんだで殺風景な宿舍の部屋。そんな部屋をお安く可愛く模様替えして女子力も向上！？

5 車があればどこだって行ける！

—自転車でかなりの範囲を移動する筑波大生ですが、車があればもっと充実するのです！

6 スノードロップ

—連載第三弾！今回からアンケートをもとにイマドキ筑波大生の恋愛事情をみていきます。

🌸 1 筑波大学の2学期制検証日記



筑波大学が2学期制になって早三月…7月に授業があることでやっと実感がわいてまいりました。それにしても、2学期制になると何が変わるの？いいことあるかしら？具体的にどんな予定になるの？と疑問に思われる方も多いかと思いますが。

と、ということで！

筑波大生が気になる2学期制の影響ベスト3(1位 長期休暇、2位 テスト、3位 就活(*1))の内、3位の就活に焦点を当て、具体的な予定を見ながら検証してみましょう。

こちらは 2013 年 1 月～3 月の個人的なスケジュールです。2 月に説

明会や ES(*2)の締切、大学のレポート、試験等が集中していること

がわかります。絶賛就活中の私ですが、12 月から現在までで一番

忙しかったのは 2 月でした。ほとんどの大学は 2 学期制をとってお

り、2 月くらいから春休みに突入するのでいいかもしれませんが、3

学期制の筑波大生にとってはなかなか辛いスケジュールです。。

授業やゼミ、試験をこなし、時間や身だしなみを気にしながら説明

会や選考に向かったり、ひっきりなしに襲いかかってくるレポートを

倒しつつ ES を仕上げで郵便局に走ったりするのは体力面にも精神

面にも大ダメージ！

それに加えて生活に痛恨の一撃を与えるのは交通費。TX でつくばから秋葉原まで片道 1150 円はかなり辛い出費で

す。就活中は不定期に予定が変更になるのでアルバイトを増やしたくてもそうしにくい時期でもあります。お金を引き

出す度に涙がちよちょ切れそうになった日々…思い出すと胃がキリキリ …。

さて、こんなスケジュールが 2 学期制になるとがらりと変わるので！今年度は 2 月 13 日から春季休業となります。

たかがひと月…と思うかもしれませんが、具体的な日程を見るといかがでしょう？スケジュールにかなり余裕が出て

1月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
				説明会 ゼミ		説明会
13	14	15	16	17	18	19
				説明会		
20	21	22	23	24	25	26
						説明会
27	28	29	30	31		
集中授業				ゼミ		

2月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
		説明会	説明会	説明会		集中授業
10	11	12	13	14	15	16
集中授業	説明会 ES締切			ゼミ	説明会 レポート締切	
17	18	19	20	21	22	23
ES締切	ES締切 論文締切			ES締切		
27	25	26	27	28		
	テスト		期末試験 研究発表	ES締切 ゼミ		

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
	説明会 ES締切	ES締切			説明会 テスト	説明会
10	11	12	13	14	15	16
ES締切		ES締切		テスト		
17	18	19	20	21	22	23
					面接	
24	25	26	27	28	29	30
面接		テスト				
31						

くと思いませんか？また、大多数の大学生と同じような日程になることで足並み揃った気持ちになれるのも大きい
です。

…とはいえ、就活が4年生の4月解禁に変更になったら今回の検証はあまり意味がありませんね。就活開始時期が
変更になることで学業に専念できるか、と聞かれると微妙な気もするのですが…。どういう形であれ、2学期制が就
活生の後押しとなりますように！

(人文・文化学群 日本語・日本文化学類 野川佳奈代)

*1 筑波大生が気になる2学期制の影響ベスト3は個人的な考えです。

*2 ES…エントリーシート。

参考リンク:[2013年度学年暦](#)

🌸 2 芸術専門学群、はじめました。



みなさま、ADPとは何かご存知ですか？それは、Art Design Produceの略です！

なんのことかしら??と思う方、これは筑波大学芸術専門学群で全学向けに開講している演習授業の1つです。内容は文字通り「アート・デザイン」を通して、物事やそれに関わる人をプロデュースしていくプログラム(*1)です。2005年に始まったこのプログラムでは数チームごとに様々な活動をしています。私は大学2年間、このADPに全力!と頑張っていい程の力を注ぎ込んできました。芸術専門学群が開講しているということで敷居の高さを感じながらも“他学類の代表です”ってな顔(?)をして興味本位で参加し始めたのが2年生でした。

私は【八潮エクスプローラー】というチームの一員として、埼玉県八潮市役所(八潮市はTXの駅がありますね!)の方々と共に都市デザインを行ってきました。なかでも一番力を入れたのが鉄塔を題材にした写真コンテストの企画運営です。

鉄塔と聞いてみなさんは何を想像するでしょう?「大きい」「白い」というものの他には「電磁波がでているらしい?」「景観を崩す」といったマイナスイメージも大きいのではないのでしょうか。そんなマイナスイメージのものを、見方を変えてプラスイメージにできたら…!と思い、始まった企画です。コンテストの名前は「鉄塔鉄美」。キャッチーですよ?ポスターもこんな感じで、実は昨年度は学内にも貼っていました。



左：一昨年度 右：昨年度

実際に応募作品は 40 点を超え写真展も開かれ、最後は素敵な写真集としてできあがりました♪



みなさん、八潮を訪れの際は是非鉄塔を気にしてみてくださいね。鉄塔の他にも私たちの身近なものは見方を変え
るととっても素敵になるんだなあということを改めて確認した活動でした。

(人間学群 障害科学類 岡山未季)

*1 [adp12 ホームページ](#)より

参考リンク: [筑波大学アート・デザインプロデュース演習 2013](#)

2013 年度の活動・他チームの活動も興味のある方は是非ご覧ください

③ ボランティア体験後の感想



私は大学院に一年間の勉強を通して自分が一番関心を持っている研究テーマを探りました。それは、日本における若者自立支援に関することです。近年、社会構造の変化に伴い、格差と貧困が拡大傾向にあり、若年層の格差が社会格差の重要な要素だと考えられます。失業率や非正規雇用の比率が若年層特に10代後半から20代前半の世代で極めて高くなっています。このような社会背景のもとで、学校から職業生活へ移行する若者が失業や貧困などの重大な危機に直面しています、中国にもこの深刻な課題を抱えていますが、日本のように、十分に対策を行っていないと感じています。

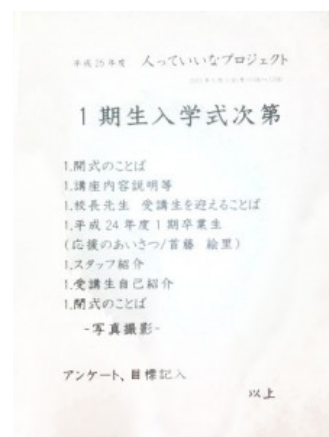
今回、私は特に取りあげたいのが「地域若者サポートステーション」という若者自立支援機関です。この支援機関は平成18年度より厚生労働省が若者を社会的・職業的自立へ誘導することを目的とし、全国各地



域において地域自治体との協働により、設置したものです。初年度は全国で25カ所だった地域若者サポートステーションが年々増設され、平成24年度に116カ所まで整備されました。今回、私はボランティアとして参加したのが、新宿区のしんじゅく若者サポートステーションの活動です。6月から始まった「人っていいな プロジェクト」にまだ1日しか参加していなかったのですが、私にとって、とても貴重な体験だと思います。現場に入って、実際にどのような若者が、どのような支援を受けているかを自分の目で自分の体で感じ取ることができました。

6月3日は初日なので、午前中の入学式が行われてから、午後にワークショップが始まりました。ボランティアの体験が初めてですが、それより嬉しいと思うのが、このプロジェクトに参加してくる若者たちと出会ったことです。彼らたちは、見た目で普通の若者とあまり変わらない若者もいるし、自信が足りなさそうな人もいます。なので、彼ら

ちを対象として作ったワークショップは思うよりシンプルなことをやりました。ワークショップの目的はというふうにとコミュニケーションをとることだと思います。本当に自己紹介でも簡単にできない彼らは、普通に人とコミュニケーションをとるようになるまで、また、働きだすことから働き続くまで、ただ今回のプロジェクトを通してうまくいけるわけではないと思います。なので、このような困難を抱えている若者にどう支援すれば適切なのか、支援を受けた経験がこれからの人生にどんな影響を与えるかは深刻な課題であると思います。そして、私はボランティアとして、一体どんなことができるのかを考える必要があると思います。



🌸 4 予算2100円で宿舎ちょこっと向上計画



今年も暑い夏がやってきましたね。この時期に気になるのは、春先の新鮮な気持ちがマンネリ化してしまうことではないでしょうか。そこで今回は、このマンネリ化した殺風景な宿舎部屋を予算 2100 円でちょこっとかわいく、便利にしてみたいと思います。

ということで早速物品調達に、筑波大学に最も近い 100 円ショップである、桜地区のセリアに行ってきました！ 数ある商品の中から、マット、ウォールポケット、本立て×2、カフェカーテン×2、ティッシュカバー、ケーブルタイ、タップボックス、



ガーランド、フックシート×3、カーテンタッセル、収納用圧縮袋×4、ミニラック×2、の 20 点を購入しました。この中からいくつかのアイテムの使用例を紹介していきたいと思います。



まずはケーブルタイとタップボックスを使ってコンセントの密集エリアを整頓します。左の上がビフォーの写真。楽しみにしていた Wii U が届いたのはいいものの、テレビやパソコンのコンセントと絡んで大変なことになっていますね。下はアフターの写真です。ケーブル

を束ねたり、タップボックスに収納したりして小綺麗なコンセント周りになりました。

次に目をつけたのはドアです。3つのフックシートをドアに貼り、帽子とウォールポケットをかけ

てみました。フックシートはデザインがかわいく、貼って剥がせるタイプなのも魅力的ですね。



近頃よく聞く、女子力とかいうものが上がったような気がします！

さて、調子が上がってきたところで次は本棚です。二種類のカフェカーテンをそれぞれカットし

て、一枚は棚の上に敷き、もう一枚は上を両面テープでとめて、目隠しカーテンにしました。こ

れで人様には見せられないような本たちも、かわいく隠せちゃいます！これも一種の女子

力ですね？

最後はミニラックの取りつけに移りたいと思います。コンクリートの壁際に画鋲が刺せそう

な一本の木のラインを見つけたので、そこにラックを取りつけ、先ほどカットして余ったカ

フェカーテンを敷きました。



右上の写真が一つ目のラックです。小ぶりなかわいい棚ができたことに感動して、つい好きなゲームやアニメのキャ

クターグッズを飾ってしまいました…！これまで実体以上に膨れ上がっていた女子カバブルがはじめて急降下、マ

イナスの域に入ってしまったようです、残念。

埋め合わせに、二つ目の棚(右下の写真)にはお気に入りの香水やマニキュアを飾ることにしました。何事もほどほどが一番ですね。

紆余曲折を経ましたが、今回の企画を通して、私の宿舍の部屋にはちょこっと新しい風が吹きました。低予算で時間もあまりかからないので、マンネリ脱出にお勧めです。みなさんも、ちょこっとインテリアで気分転換してみたいはいかがですか？

(人文・文化学群 日本語・日本文化学類 河原一愛)

🌸5 車があればどこだって行ける!



宅通の私にとって欠かせないもの、それは車です。私はつくばの自宅から大学に通っているわけですが、つくばといっても私の家の周りには駅やバス停が近くにはありません。1年生の8月に免許を取るまでは、親に送り迎えをしてもらっていたのであまり遅くまで遊んだりすることはできずいつも時間を気にしていました。

しかし、免許を取り自分の車を手に入れたその日から私の生活は大きく変わりました！まず行動範囲がとてま広くなりました。車があればたいいの場所へ行けます。お昼にちょっと遠出してみたり、水戸にいる友達に車で会いに行

ったり。5月には潮干狩りをしに横浜まで車で行って来ました！

宅通の私は時々さみしい思いをすることもあります。車を持っているということでみんなをちょっと自転車ではいけないところにお昼に連れて行ってあげられたり、大きな買い物をするときやお引越しで車出しを頼まれたりみんなの役に立てる！という優越感を味わうことができたりします。車で友達とわいわい言いながらドライブするのはとても楽しいし、遊びに行った帰りにみんなが寝ちゃったりすると私の運転に安心してくれているんだなとちょっとうれしくなります。

私の周りには車で宅通している人や車持ちさんがちらほらいます。夜遅い時間だと車の運転すっごく眠いよね！とか自転車とか原付ひいちゃいそうで怖いよね！とか大学の駐車場狭くて車停めるのが大変！とかつくばの運転荒くない！？などなどそれなりの苦労や危ない瞬間もありますが、みんな車は便利だしあちこち行ったりして楽しんでるようです。夏休みも間近、私は今夏休みに車でどこに行こうか計画中です。

(人文・文化学群 比較文化学類 柳下茉輝)

🌸6 スノードロップ🌸

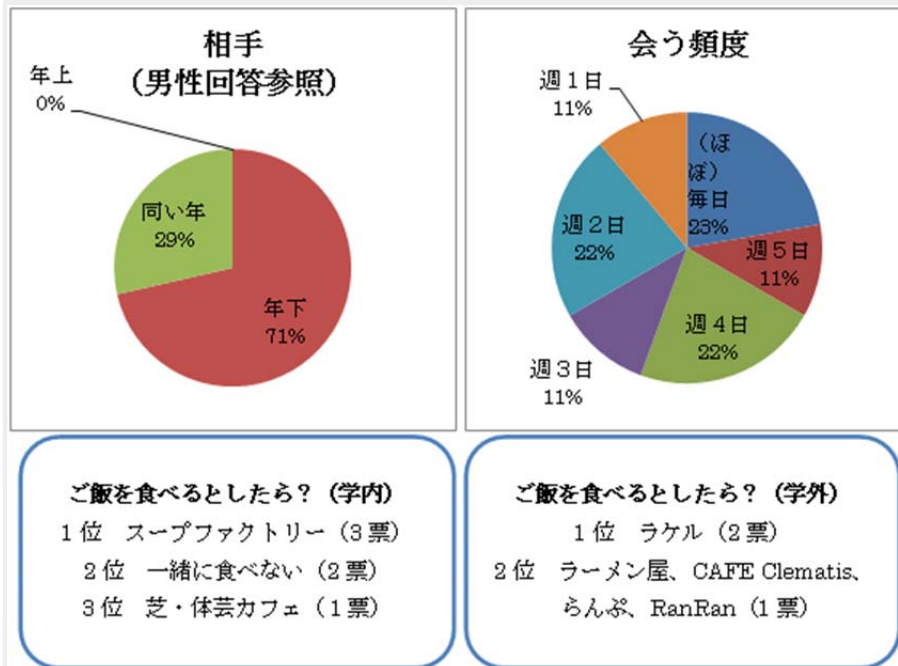


筑波大生の恋愛事情をお送りする第3弾！今回は、知人にちょっとしたアンケートをしてみました！なぜか男性の回答者が多くなってしまったため、男性目線の記事になる…かもしれませんね。ちなみに、アンケート回答者数は10名

です。早速見て行きましょう！

相手は（年上・年下・同い年）
付き合っただのくらい？
相手との接点は？（学類・サークル・地元・その他）
どのくらいの頻度で会う？
相手の「ここ、いいなあ」と思うところは？
相手の「ここ、ちょっとなあ」と思うところは？
2人でデートしてみて良かったスポットは？なぜ？
相手と将来の話をする？（よくする・たまにする・しない）
相手との将来（結婚とか）を考えていたりする？（はい・いいえ・分からない）
学内で、2人でご飯を食べるとしたら、どこ？なぜ？
学外（近場）で、2人でご飯を食べるとしたら、どこ？なぜ？
相手の部屋の合鍵を持っている？
相手の部屋に行く日は決まっている？

○質問項目(一部抜粋)○



○回答結果(一部抜粋・無回答者あり)○

会う頻度としては、週3回以上が7割といったところのようです。ふむふむ。でも、筑波大に入る前に聞いていた「筑

波は学生結婚が多いらしいよ」という噂とは裏腹に、合鍵を持っているというカップルはそこまで多くないようですね。

それから、それから…カップル構成としては女子が年下というところが多い！やはり！そしてアンケートの結果を見ていて気になったことは、『落ち着く』という言葉が非常に多く出てきたということです。このワードが出てくるポイントは、相手の長所で「一緒にいると落ち着く」、デートで良かったスポット・2人で食事をするのに良いと感じた場所の理由として「落ち着くから」という所でした。ちなみに、食事するのに良い場所ナンバー1は、「スープファクトリー」でした！あそこは、女子同士で語るのにはもちろん、カップルで行っても落ちつけて、私も大好きな場所です。以上のことから、多くの男性は、女性と一緒にいることで心穏やかな時間が過ごしたいと思っていることが分かりました(笑)ただし、学内ではよりおしゃれで雰囲気の良い場所を選ぶ一方で、学外ではラーメン屋や RanRan などがつつり系を食べることもあるようですね。もはや気兼ねしない域に達した仲ということでしょうか！

そして、この先は私の見解なのですが、大学生はサークルに、勉強に、バイトと目まぐるしい日々を送っていて、恋人との時間に安らぎを求めているのかなと。筑波大生はサークルを掛け持ちしている人も少なくありませんね。でも恋人との時間に安らぎを求めるといのは、大学を卒業した皆さんも変わらないのでしょうか。また、家族と離れている分、恋人が家族のような存在になっている部分がある気がします。実際、私の元彼は(はい、実は別れてしまったのです☆)父に似ているところが沢山あって、そういう面を見つける度、いいなあと思う自分がいました(笑)ファザコンではございません！(笑)ただし、相手と将来の話をするかという質問に対しては、たまにする、しないの回答が多く、相手との将来について考えていたりしますか？という質問に対しては全員が「分からない」を選択していました。こ

れは、私の感覚からすると少し意外でした。というか少しは相手に考えておいてほしい…という願望があるからでしょうか。ちょっと残念な気持ちになりました。これは、まだ自分の将来も見えていない「大学生」だからなのでしょう。それとも、筑波大生のように様々な地域から来ている以上、離れ離れになってしまう可能性が高いから将来のことは考えにくいのでしょうか。それとも、相手には自分の将来をきちんと考えてほしいから、自分とのことは二の次でいい！

といった感じなのでしょうか。



カップルを見ていると、その2人が一緒にいることが当たり前で、ずっとそのままいてほしいと願ってしまうのです。今、一緒にいて落ち着くとか楽しいとかということも大事だとは思いますが、これからもずっと一緒にいらいたいなと思ってもらいたいし、思っ

てもらえるような自分になりたいものですね。

日光がさんさんと降り注ぐ夏本番もすぐそこ！まつりつくばや土浦の花火大会などイベントが盛り沢山！浴衣を着て出かけるのもいいですね。そしてあわよくば、新しいステキな出会いがあったらいいなあ(笑)白馬に乗って…いや、自転車に乗って私を迎えに来てくれる心優しい王子様はいないものなのでしょうか、ね^^

(人文・文化学群 日本語・日本文化学類 入田恵津子)



🌸編集後記

すっかり夏色のつくばから、ペデジャーなる夏号のお届けです！この夏号で「ペデジャーなる」は2周年を迎えました。これも温かく見守ってくださる読者の皆様のおかげです。本当にありがとうございます。メンバー一同より一層精進してまいりますので、今後も応援よろしく願いいたします。

さて、ここで大学よりお知らせです。

筑波大学は今年10月1日に開学40周年を迎えます。そこで40周年記念事業の一環として、今年のホームカミングデーは対象者を拡大して開催されます。通常の対象となる学群卒業後20年となる方々に加え開学当初の入学生の方々が今年の対象です。気になる開催日は11月3日(日)。たくさんの方々のご参加、お待ちしております！

対象者についてなど、詳しくは[こちら](#)からご確認ください。

🌸筑波大学 公式ホームページ: <http://www.tsukuba.ac.jp/>

🌸筑波大学 facebook: <https://www.facebook.com/univ.tsukuba.ja>

🌸筑波大学校友会 SNS「KUTTUK ba」: <https://alumni.tsukuba.ac.jp/>



🌸編集・発行

「ペデジャーなる」編集ワーキンググループ

🌸デザイン・配信作業

人文・文化学群 日本語・日本文化学類 関崎美久

情報学群 情報メディア創成学類 酒井佑弥

🌸ご意見・問い合わせ先

国立大学法人筑波大学 連携・渉外室

〒305-0821 茨城県つくば市春日 1-8-3 筑波大学春日プラザ 1 階

[TEL:029-853-2030](tel:029-853-2030) FAX:029-853-6576

gakuyu@un.tsukuba.ac.jp

🌸 配信停止をご希望の方

下記メールアドレス宛に『配信停止希望』の旨明記し、送信してください。

gakuyu@un.tsukuba.ac.jp

メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。

Copyright © 2013 University of Tsukuba. All Rights Reserved.